

平和がいちばん！訴えた5ヶ月

枚方市長選挙：おおた幸世候補 13,999 票



無防備運動から 市政を変える取 り組みへ！

4月22日投票の統一地方選挙で、安倍内閣の進める戦争国家づくりに反対し、平和・無防備条例直接請求を担った仲間が登場した大阪府枚方市のおおた幸世市長候補、手塚たかひろ市議候補、東京・品川区の山本よし子区議候補、同荒川区のたかせさち子区議候補である。当選には至らなかったものの、各候補とも奮闘し多くの批判票を組織した。枚方市長選挙で奮闘したおおた幸世候補（無防備枚方の会事務局長）に、選挙を振り返ってもらった。

平和がいちばん 訴えた5ヶ月

全国のみなさん、ご支援ありがとうございました。当選に至りませんでした。この五か月は選挙という新たな舞台で増えつづけるスタッフと共に走り続けました。見知らぬ人たちに精一杯「平和がいちばん」戦争につながる一切を枚方市役所、市民の中に持ち込ませない、「命こそ宝・福祉」なんでもかんでも民営化はおかしい。健康・命のことは、枚方市が責任をもつ、「子供は未来・教育」格差につながる教育はいけない、「住民自治は、市民自らが学び、考え、決めること」と訴えました。街頭での「語り合い」は、記憶できる範囲を超えました。

無防備運動から現市長の姿勢に怒り「市政を変える」思いへ

二年前の無防備地域宣言条例制定の直接請求が否決されて以降、取り組みを続ける中で現市長の本質があらさまになりました。昨年一年間の公民館の廃止を決める過程での、市民の声を聞かない姿勢。昨年の秋「枚方市住民保護計画」作成過程での「国の方針を強力に押し進める」姿勢。その姿勢に対し大きな怒りと危機感をもちました。それだけでなく、枚方市役所に通い、情報を得る中で枚方市が大切にしてきた「住民自治の街」「生活しやすい福祉も街」「子供が育てやすい街」が「経営改革」の名の下に全て切り捨てられようとしていることを知りました。なんとかしないと…戦争システム



山内徳信さんとおおた、手塚候補

に市民を巻き込む市政は、市民の声を聞かない。福祉を切り捨てる。このまま任せたら大変」という思いを深めました。また、無防備地域宣言運動が広がり、初めて賛成の意見書を提出した国立市の市議会を傍聴した時に、市民の声に真摯に向き合う市長と市議会議員の連携が審議内容を深め、市民を元氣付けるものだ」と確信しました。

200回を超える街頭行動へ訴えるほど広がる

一月から始めた街頭の訴えは寒くて息がしづくになりマイクをつたい足ががくがく震えました。多くの見知らぬ方が、帰宅時に駅から押し寄せる中で、自分の主張を述べる「怖さ」に身を縮めました。しかし、200回を越える街頭は、何人かの友人が常に、一緒に「震え」旗を持ち、「今度はこのように言うといい」等の「励ましあい」がありました。

受任者への「会結成」の報告の訪問で枚方中を周り、枚方市の開発上の問題も見えてきました。何よりも、「平和が一番」という受任者との関係が、市政を変えるのだという共通の目標になったことは、大きな財産だと考えています。選挙期間中、無名の「おおた」に対し、バルコニーから手を振ってく

ださった方。玄関から出てきてく
ださった方、車から名前を呼んで
くださった方。「医療費の軽減を頼
みます」商店街を大切にしてい
い、「枚方の教育は、今おかし
多くの「願い」が無名の「おおた
に語られました。今の枚方市に不
満をもち、枚方を変えたい！」と
いう市民は多い。真実を訴えれば、
訴えるほど広がると確信しました。

枚方から変える。そのために住民
自治を取りかえす

投票日から一週間後、公民館で
選挙協力した友人が企画した「第
2の人生を考える会」の第一回目
の集まりに参加してきました。企
画した友人は、この数年の障害者
自立法や介護保険法の改訂に生活
の変更をよぎなくされた方と接し

尼崎を非戦のまちへ 無防備平和 条例制定運動に参加します！

尼崎市 高島ふさ子

尼崎市では平和条例制定にむけ
て2月学習交流会を開催しました。
全国ネット中川さんの詳しい報告
を受け、無防備条例の取組みが広
がっていること、また取り組んだ
地域で国民保護計画づくりに異議
ありのパブリックコメントがたく
さん出されたり、奈良市で公聴会
を開催させていることを知り元氣
になりました

尼崎でやりたいと思っただきつ
けが、国民保護計画審議会ではど
ん意見が出ず、パブリックコメ
ントがわずか一人だったこと。こ
んな大切なことがほとんど市民の

知らない間に決まっていたの？と
思ったからでした。

参加者からは、尼崎のことだけで
なく伊丹市や沖繩のことも考えて
いこう、「勉強に來ました。署名が
始ったら協力しますよ」と前向き
な意見をもらいました。来春の署
名開始をめざし、6月準備会結成
を決めました。

戦争に協力しない地域へ

尼崎市は人口46万人、戦時中
は軍需工場、石油施設が標的にな
り激しい空爆をうけています。

枚方市の対応に疑問を持っていま
した。「平和」「福祉」「教育」「住
民自治」という選挙での訴えに対
して、今後より地域の草の根の取
り組みが必要と考え企画してくれ
たのです。「枚方市を変える、枚方
から変える。その為に住民自治を
取りかえす」選挙後の取り組みが
はじまっています。多くのスタッ
フの皆さん、年度始めという忙し

子ども達は学童疎開。防空の名の
もとに民家の疎開で4000戸近
くが取り壊されたと記されていま
す。地域的には尼崎港を持ち、隣
接する伊丹市の自衛隊基地を結ぶ
経過地として位置づけられる可能
性があります。労働者の街、庶民
の街である尼崎市では市民派市長
が2期目。

市民との対話と情報公開を重視
されている市長は、「国とけんかし
ても」というのは国立市長と同
じ、「無防備宣言は理解していま
す」と発言しています。尼崎市国
民保護計画は決まりましたが、事
前の申し入れの際、武器を持った
自衛隊員が避難訓練に参加してい
る写真を見せ迫ったところ、避難
訓練に自衛隊の参加については市
長判断での運用は可能だとの見解
を引き出しています。

この無防備平和条例制定の運動づ

い中、生活を変えて応援にきてく
ださった方々のおかげで、私たち
は、確実な一歩を歩む事ができま
した。ありがとうございます！今後
も、よろしく見守ってください。



尼崎市 近松公園

くりが市民の命と安全を守り、
戦争に協力しない地域づくりの大
きなきっかけになると思っています。

平和の意志を掘り起こす

今、国民投票法案の強行採決に
みんなが怒っています。憲法を本
当に生かす街づくりを自分たちの
一歩から始めましょう。5月「パ
ークレー」に学ぶ住民自治と平和な
街づくり「学習会」、6月全国ネッ
ト集会を成功させ、そのことを通
じて地域の平和への思い、戦争に
協力しない意志をいっばい掘り起
こしたいと考えています。ご協力
をお願いします。